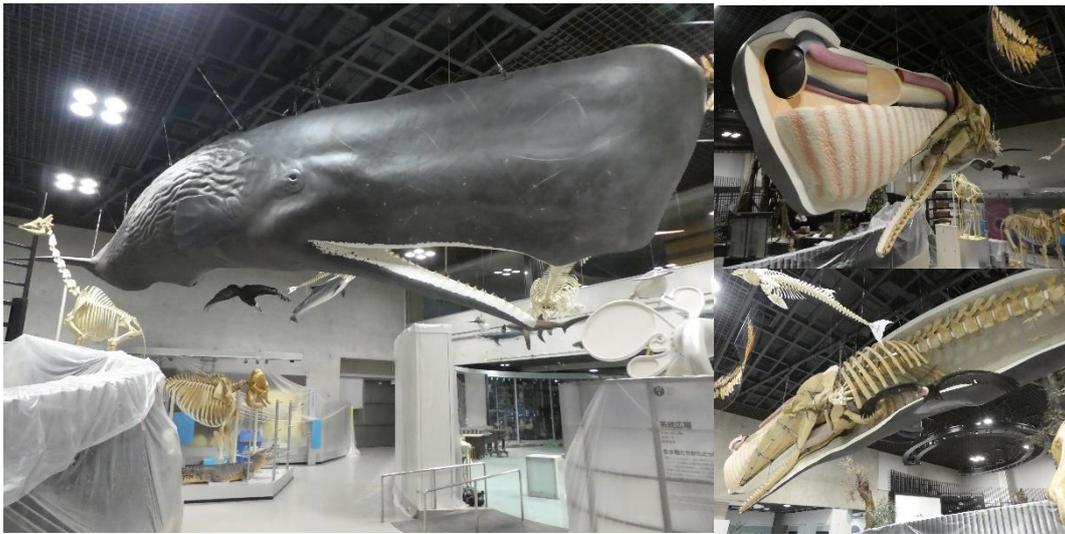




体長約 14mの巨大標本！！

『世界初！マッコウクジラ半身模型付全身骨格標本』

常設展公開及び報道内覧会実施のお知らせ



国立科学博物館（館長：林 良博）は、地球館1階「自然を生き抜く工夫」コーナーの改修に伴い、半身模型と実物骨格を組み合わせた世界初のマッコウクジラ半身模型付全身骨格標本を公開します。2019年の特別展「大哺乳類展2」で展示した本標本を、皆様に長くお楽しみいただけるように常設展にて公開するものです。併せて、閉鎖していました系統広場等地球館1階展示を再公開します。

3月9日（火）の公開日に先立ち、別添のとおり3月8日（月）（【第1回】13時00分～、【第2回】13時30分～【第3回】14時00分～）に報道内覧会を実施します。つきましては、広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

なお、当日は特別展「大地のハンター展 ～陸の上にも4億年～」報道内覧会も開催いたしますので、併せてご参加くださると幸いです。

◆日 時：令和3年3月8日（月）

【第1回】13時00分～

【第2回】13時30分～

【第3回】14時00分～

※受付は12時開始。各回5分前または定員に達し次第、締め切り。

◆会 場：国立科学博物館 地球館1階「自然を生き抜く工夫」コーナー

※特別展入場口（SL横）よりご入場ください。

◆お問合せ：国立科学博物館 事業推進部 常設展示・博物館サービス課 常設展示担当
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9889、FAX：03-5814-9898、E-mail：jyo-ten@kahaku.go.jp

(別添)

令和3年2月24日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

体長約 14mの巨大実物標本！！

『世界初！マッコウクジラ半身模型付全身骨格標本』

報道内覧会のお知らせ

令和3年3月8日（月）

【第1回】13時00分～

【第2回】13時30分～

【第3回】14時00分～

東京上野・国立科学博物館

国立科学博物館では、『マッコウクジラ半身模型付全身骨格標本』の公開に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。当日は、監修者による解説、監修者へ質問することも可能ですので、是非ご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

なお、当日は特別展「大地のハンター展 ～陸の上にも4億年～」報道内覧会 (<https://www.kahaku.go.jp/procedure/press/index.php>) も開催いたしますので、併せてご参加くださると幸いです。

【日時】

令和3年3月8日（月）

【会場】

国立科学博物館 地球館1階（東京都台東区上野公園7-20）

※特別展入場口（SL横）よりご入場ください。

〈交通のご案内〉

JR上野駅公園口から徒歩5分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分、京成電鉄上野駅から徒歩10分

※駐車場の用意はございません。



【スケジュール】

【第1回】13時00分～

【第2回】13時30分～

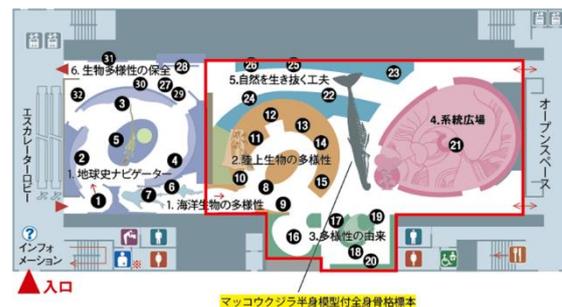
【第3回】14時00分～

※受付は12時開始。各回5分前または定員に達し次第、締め切り。

【改修内容】

地球館1階「自然を生き抜く工夫」コーナーの改修に伴い、新たに、マッコウクジラ半身模型付全身骨格標本を展示します。

【再公開場所】地球館1階



展 示 の 目 玉

1. マッコウクジラの最大の特徴である頭部内部構造を詳細に再現した半身模型と、実物全身骨格を組み合わせた世界初の展示標本です。

2. ストランディング個体の活用

本個体は、2005年8月に鹿児島県南さつま市（当時：鹿児島県加世田市）の海岸に生きて打ち上がりました。救護の甲斐なく数時間後に死亡、調査し現地へ埋設しました。体長13.77mのオスです。

2009年3月に発掘し、展示標本としてよみがえりました。

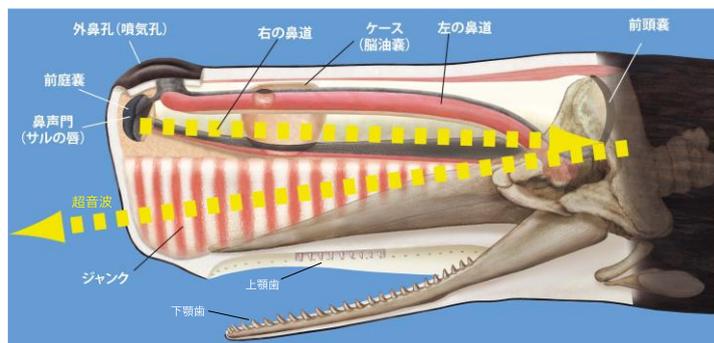
2010年の特別展「大哺乳類展-海のなかまたち」、2013年の

特別展「深海」では頭部のみ、2019年の特別展「大哺乳類展2」では全身標本をそれぞれ展示しました。今回、更なる補修・整備をし、常設展に設置することになりました。



3. 実在するマッコウクジラに近づけるために・・・

半身模型部分には、肛門、臍、眼、耳などを再現し、実在するマッコウクジラをより身近に体感していただけるような工夫を施しました。骨格標本部分では肋骨の傾き、肩甲骨や骨盤骨の位置など、実際の計測値から算出した位置に設置する工夫を集結させ、実在するマッコウクジラに近づける展示標本としました。



しょうがくし
上顎歯：マッコウクジラの上顎歯は、一生涯歯肉に埋没したままで、表面に萌え出てくることはありません。左右に10本前後存在します。歯肉に埋まっているため、先端が摩耗することが少なく、この上顎歯を使って年齢査定を行います。展示では、歯肉の一部を取り除き、上顎歯が見えるようにしました

かがくし
下顎歯：マッコウクジラが属するハクジラの歯は、乳歯や永久歯の区別がなく、一生生え変わることはありません。年齢と共に歯の先端が摩耗する個体もいます。マッコウクジラの下顎歯は、左右に18-25本生え揃います。

【監修者】



**国立科学博物館 動物研究部
脊椎動物研究グループ 研究主幹
田島 木綿子 (たじま ゆうこ)**

専門は海棲哺乳類学、獣医病理学、脊椎動物形態学。イルカ、クジラの後肢の退化について比較形態学的に研究を進めています。また、ストランディング個体はなぜ海岸に打ち上がってしまうのか？という謎を病気という観点から解き明かしています。



**国立科学博物館 動物研究部長 (常設展示委員長)
倉持 利明 (くらもち としあき)**

専門は寄生虫学で、寄生蠕虫類 (吸虫、条虫、線虫など)、特に魚類に寄生する二生吸虫類 (扁形動物門、吸虫綱) の分類と生物地理を研究しています。日本の近海産魚類の寄生虫相を明らかにすることを目指しています。

【お願い】

次の方のご参加は不可とさせていただきます。

- ・当日体温が 37.5 度以上の方
- ・その他、咳、息苦しさ、下痢、倦怠感、吐き気、頭痛、嗅覚異常、味覚異常等、平常時と違う症状をお感じの方

①. 来館時

- ・受付前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方は入館をお断りします。
※館内で激しく咳き込むなど、風邪のような症状がある方には、退館をお願いする場合があります。
- ・マスクの着用をお願いします。
- ・会場内の「3 密」を防ぐため、入場者数を制限する場合があります。

②. 内覧時

- ・対人距離をなるべく 2m 以上あけるようお願いいたします。
- ・間隔調整のため、展示は譲り合ってください、複数の方が一か所に滞留しないようお願いいたします。
- ・会場内の展示物や壁面などには触れずに観覧してください。
- ・会場内での会話は大声を出さず、必要最小限にお控えください。
- ・マスクの着用、咳エチケットをお願いいたします。

③. 内覧会終了後

- ・万が一、体調不良等が起こった場合は必ず【本件についてのお問い合わせ】記載の担当までご連絡ください。

お申込み方法

報道内覧会に参加をご希望の方は 3 月 5 日(金)17 時までに、件名に「マッコウクジラ半身模型付全身骨格標本の公開報道内覧会申込」と明記のうえ、参加を希望されるすべての方の「お名前、ご所属、緊急連絡先(携帯電話番号)、メールアドレス、参加を希望される回(【第1回】、【第2回】、【第3回】)」を、下記お問い合わせ先まで E-mail にてご連絡ください。

また、このたび、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各回の参加人数に定員を設けさせていただきます。受付はお申込み順とし、定員に達した時点で、当該回の受付を終了いたします。あらかじめご承知おきください。

折り返しのメール連絡をもって受付完了とします(概ね 3 日以内にお返事します)。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるよう、ご設定ください。

代表者の方がまとめてお申込みされる場合も、すべての方の「お名前、ご所属、緊急連絡先(携帯電話番号)、メールアドレス」をご連絡いただきますよう、よろしく申し上げます。

※いただいた個人情報、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、報道内覧会終了後、1 カ月以内に破棄いたします。

【本件についてのお問い合わせ】

独立行政法人国立科学博物館 事業推進部
常設展示・博物館サービス課常設展示担当
佐久間、鳥谷

TEL 03-5814-9889

FAX 03-5814-9898

E-mail : jyo-ten@kahaku.go.jp